

令和4年10月14日

保護者 様

玉名市立伊倉小学校
校長 福田 賢一

令和4年度前期学校評価の結果等について（お知らせ）

錦秋の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、先月実施しました前期学校評価について別紙のグラフでお知らせします。また、下記の考察をもとに本校教職員で今後の対策を講じていきます。

記

1 評価が高かった項目

「いじめ・差別を許さない」（グラフ⑦）

本校の人権教育の成果であり、各学年で積み上げてきた人権感覚と自他を大切にする心が醸成されていると考えます。

「学校・学級が楽しい」（グラフ⑧）

本校の教育活動が児童の充実感や達成感につながっており、その児童の姿から学校に対する保護者の信頼感につながっていると考えます。

「安全な登校」（グラフ⑩）

週末の登校班チェックを担当教職員が確認して指導したり、地域の方々の見守りがあったりすることで、児童が安全・安心に登校できています。

「地域人材・教育資源の活用」（グラフ⑮）

地域学校協働活動推進委員の松本さんの貢献により、地域人材や教育資源の活用が図られています。また、伊倉っ子プロジェクト会議を学校運営協議会に再編することで、これまでの取組を整理し、効果的な活用につながっていきます。

2 評価が低かった項目

◇ 「ゲー、ペタ、ピン」（グラフ①）

学習内容の確実な習得のためにも学習時の姿勢が大切です。児童がそのことを自覚して授業や家庭学習に取り組めるような指導が必要です。

◇ メディアの活用時間（グラフ⑩）

家庭生活においてメディアの活用時間の割合が高くなっているようです。家庭でのルールを決めるなど、メディア活用の目的を改めて考え直す指導と啓発が必要です。

◇ 「働き方改革」（グラフ⑯）

本校における働き方改革は緒に就いたばかりです。質の高い教育活動を提供するために、保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら進めて

いきます。

3 児童・保護者・教職員の受け止め方に違いが認められる項目

△読書（グラフ④）

保護者の読書に関する評価が低い結果となりました。音読カードや読書月間等の取組を工夫したり、情報発信したりして啓発していく必要があると考えます。

△廊下での安全な歩行（グラフ⑥）

児童は廊下での安全な歩行ができていると考えていますが、教職員は指導が必要だと感じています。安全・安心な生活のためにも通学路を含め校内外での歩行について繰り返し指導していきます。

4 記述のあったご意見・ご感想について

運動場や校地内外の雑草や樹木へのご指摘がありました。

子供たちが安全な環境で安心して過ごせるよう、教育委員会や地域の方々、また保護者の皆様のご協力を得ながらよりよい教育環境づくりに努めてまいります。

教職員の言動や行動へのご指摘がありました。

話し言葉と書き言葉の両面から言語環境を整えることは、学習指導要領にも規定されていることです。本校でも授業内外の学校生活、校内放送での話し言葉、板書、掲示物、配付物などの文字使い（配色、フォント、改行、背景色）にもユニバーサル・デザインの視点から配慮しています。

また、児童に対しても一人の人格を持った人として対応し、決して悪い意味での「子ども扱い」をすることなく、是々非々の指導や個に応じた配慮・支援に努めているところです。

そうしたことができているかを日々の教育活動で振り返り、月ごとに自己及び相互点検も行っています。くまもとの教職員として常に学び続ける者だけが教える資格があるとの自覚のもと、チーム伊倉の一員として日々の研修や自己研鑽を通して互いに自らの人権意識や人権感覚を磨き続けています。

今後も新型コロナウイルス感染症をはじめとした様々な人権問題に関連して差別的な言動に同調したり、根拠のない不確かな情報に踊らされたりすることなく、自らの目や耳で確認したことをもとに自分の人権を守り、他者の人権を守る責任ある行動が取れる人づくりのために尽力していきます。

こうして保護者の皆様と言語環境の重要性について共通理解を図ることができたことに感謝します。今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。